

21世紀の環境コンサルタントの役割 ～継続的な発展を目指して～

国土環境株式会社 代表取締役社長
田畑日出男

当社の前身である気象予報会社が設立されてから、来年でちょうど50年目を迎えようとしています。その間、環境部門への本格的な進出を果たし、環境科学の総合コンサルタントとして名実ともに成長することを目標に、研究施設の整備や技術開発など積極的な一歩先を見る努力を重ねてきました。最近では、業務が拡大している沖縄での活動の拠点となる当社グループビルを那覇市に建設中で、本年4月に竣工の運びとなっています。

しかし、会社を取り巻く状況は最近大きく変化してきており、周知のように、これまで我が国の成長を支えてきた産業に変化の波が押し寄せ、多国間での競争の激化やグローバルスタンダードへの対処があらゆる方面で求められています。国内では、急速に進む少子高齢化や経済構造の建て直しに迅速に対処することが必要となっています。一方、IT、ライフサイエンス、ナノテクノロジー、さらには環境の分野には今後の技術開発のニーズが秘められていると認識され、今世紀の産業の有望分野となっています。

私がコンサルタントとして環境問題に携わった30年の間に問題の性質は変化し、フロンティアは拡大しつつあるかに見えます。例えば、汚染の問題は、当初の4大公害事件に代表される危機的なものから環境ホルモン問題のように次世代へのリスクが想定される長期的な問題に移行し、また、廃棄物処理の諸問題は、日本の社会を循環型社会へ転換させることを要請しています。さらには気候変

動や生物多様性の保全の問題や有害物質に着目したPOPs問題等は国境を越えた問題であると同時に、途上国に対する支援を求められている緊急の課題となってきています。

環境問題は、今世紀中に関係者が不断の努力を傾注しても、なお課題が残される分野です。今後の環境問題は、それだけを切り離して解決できるものではなく、社会や経済のあり方と密接に関連するものになると考えられます。こうした条件下、環境のコンサルタントとしての当社が今世紀にどのような継続的な発展の方向を模索すべきかに、日夜心を砕いているのが現状であり、おおよそ次のような姿を考えています。

- ① 環境アセスメント、調査、環境分析等の公正なデータをもって問題の解決のため、良きアドバイザーとして活動すること。
- ② 技術開発に努力を傾注し、これまでの実績をも踏まえ、環境の再生・創造、有害物質のリスク評価に常に新しい分野を開拓していくこと。
- ③ 環境に関する最新の知識・情報をとりまとめ、最新のIT技術等を活用して発信し、環境知識の普及にも活用していくこと。
- ④ 広く国際的な視野を持ち、国際協力や海外事業にも積極的に参加していくこと。

これらの業務展開の現状と将来を図にまとめてみました。各位に忌憚のないご意見を伺えれば幸いです。



沖縄新社屋
完成予想図

